



2021年度9月期 決算説明

.....

株式会社 丸山製作所
代表取締役社長 内山剛治

目次

1. 2021年9月期 業績概要 P.2
2. 2022年9月期 業績予想 P.12
3. 第7次中期経営計画 P.18
4. 参考資料 P.28
会社概要 財務諸表 等

1. 2021年9月期 業績概要

.....

【2020年10月1日～2021年9月30日】

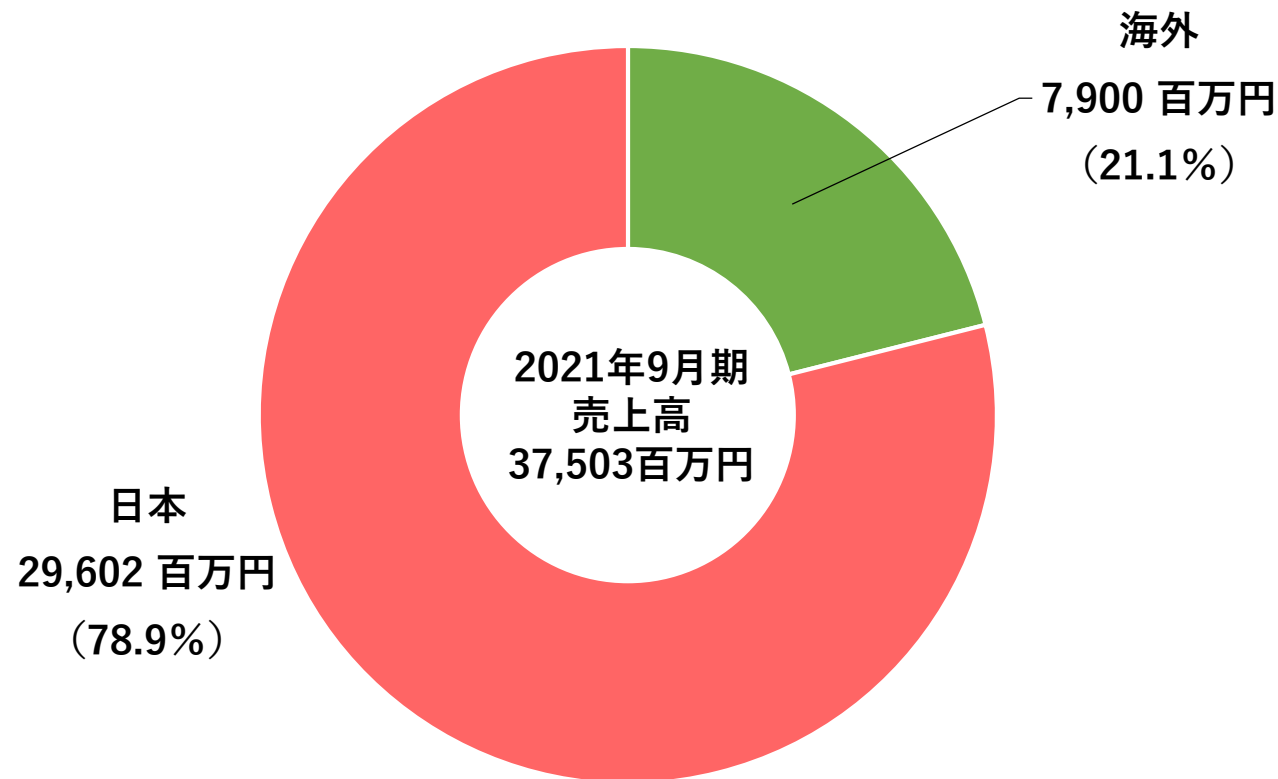
2021年9月期 業績概要

単位： 百万円	2020年9月期		2021年9月期					
			当初予想		実績			
	金額	売上高 構成比	金額	売上高 構成比	金額	前年 同期比	売上高 構成比	予想比
売上高	34,895	100%	35,500	100%	37,503	7.5%	100%	5.6%
営業利益	852	2.4%	950	2.7%	1,387	62.7%	3.7%	46.0%
経常利益	763	2.2%	880	2.5%	1,302	70.7%	3.5%	48.0%
当期純利益	648	1.9%	650	1.8%	855	32.0%	2.3%	31.5%
為替レート 米ドル			105円		108円			
為替レート ユーロ			120円		129円			

国内外共に、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が抑制されるなど厳しい状況が続いておりますが、当社グループでは、国内アグリ流通において、経営継続補助金政策の影響、HC流通の好調、また北米、中南米を中心に防除機や刈払機が増加した結果、売上高 37,503百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益1,387百万円（前年同期比62.7%増）、経常利益1,302百万円（前年同期比70.7%増）となりました。

売上高の海外構成比

単位：百万円	2020年9月期		2021年9月期		
	売上高	売上高構成比	売上高	前年同期比	売上高構成比
海外	7,679	22.0%	7,900	2.9%	21.1%
日本	27,216	78.0%	29,602	8.8%	78.9%



セグメント別 業績概要

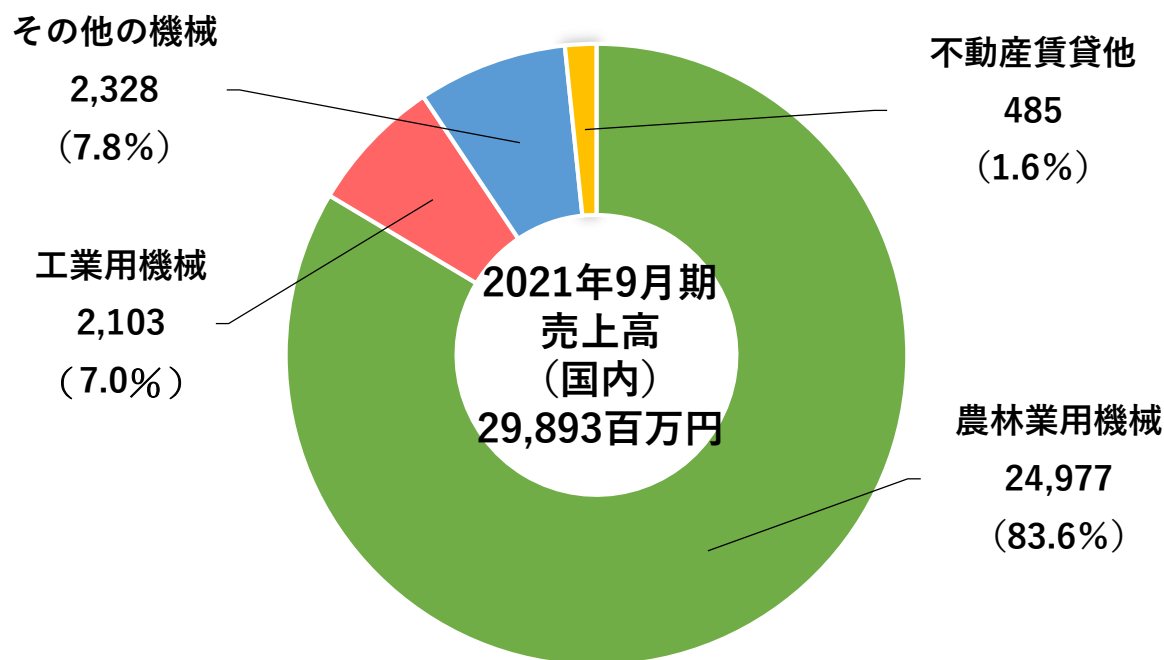
単位： 百万円	2020年9月期 実績			2021年9月期 実績				
	売上高	売上高 構成比	営業 利益	売上高	売上高 構成比	営業 利益	営業利益 構成比	変動要因
農林業用 機械	26,433	75.8%	1,034	29,288	78.1%	2,027	58.0%	国内：セット動噴の増加 アグリ・HC部品の増加 海外：防除機・刈払機の増加
工業用 機械	6,067	17.4%	1,020	5,693	15.2%	1,162	33.2%	国内：洗浄機の増加 海外：工業用ポンプの減少
その他の 機械	2,199	6.3%	131	2,328	6.2%	69	2.0%	
不動産賃貸他	488	1.4%	282	485	1.3%	239	6.8%	
調整額 (セグメント 間取引)	△293	△0.8%	△1,615	△291	△0.8%	△2,111	-	
合計 (うち海外)	34,895 (7,679)	100.0% (22.0)	△75	37,503 (7,900)	100.0% (21.1)	1,387	-	

農林業用機械：国内はセット動噴や部品の増加、海外は防除機・刈払機の増加により、売上高は10.8%増加（前年同期比）、営業利益は96.0%増加（前年同期比）

工業用機械：洗浄機は増加するも、北米・欧州向けの工業用ポンプが減少。
売上高は減収（前年同期比6.2%減）、営業利益は14.0%増（前年同期比）

セグメント別 売上高（日本）

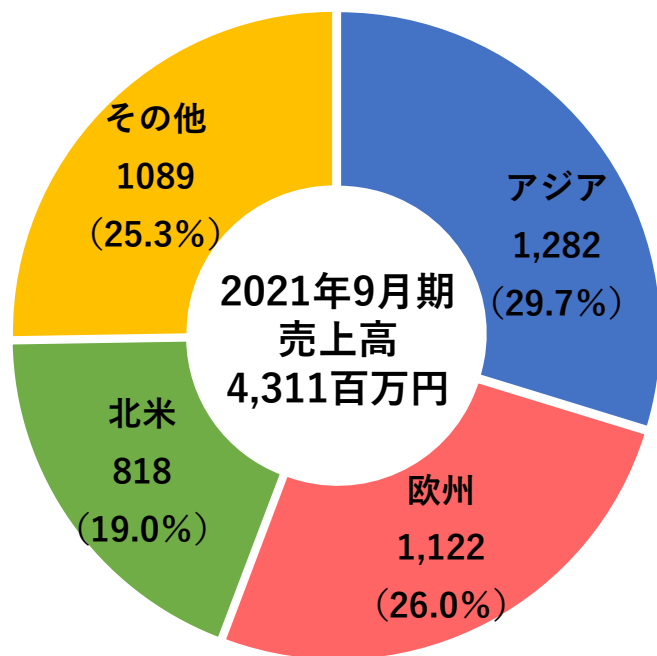
単位：百万円	2020年9月期 実績		2021年9月期 実績		
	売上高	売上高構成比	売上高	前年同期比	売上高構成比
農林業用機械	22,835	83.0%	24,977	9.4%	83.6%
工業用機械	1,993	7.2%	2,103	5.5%	7.0%
その他の機械	2,192	8.0%	2,328	6.2%	7.8%
不動産賃貸他	488	1.8%	485	△0.6%	1.6%



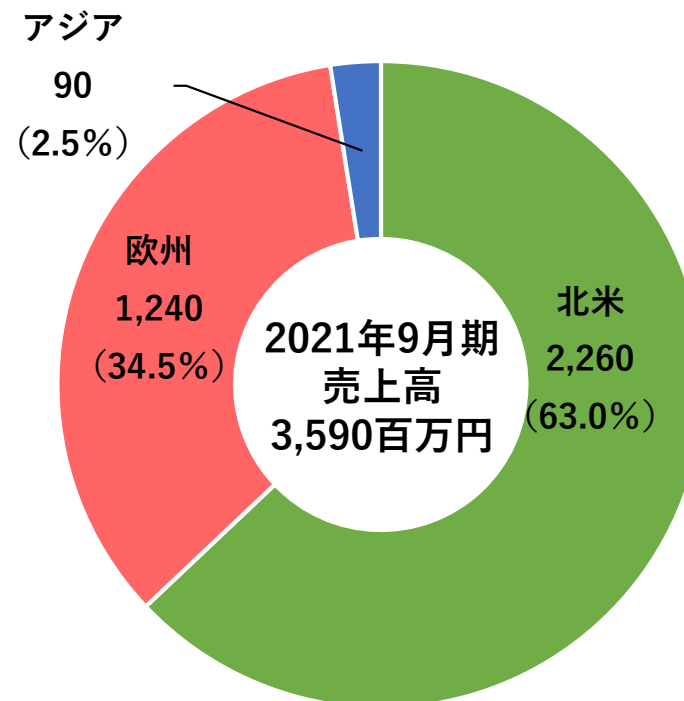
セグメント別 売上高（海外）

単位：百万円	2020年9月期 実績		2021年9月期 実績		
	売上高	売上高構成比	売上高	前年同期比	売上高構成比
農林業用機械	3,598	46.9%	4,311	19.8%	54.6%
工業用機械	4,074	53.1%	3,590	△11.9%	45.4%

農林業用機械



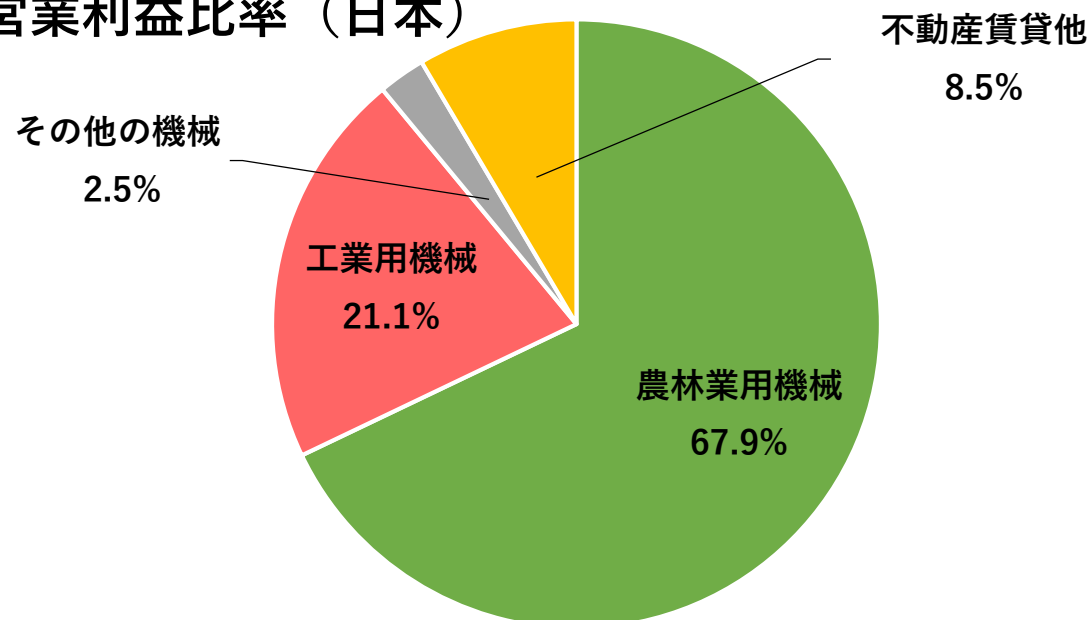
工業用機械



セグメント別 営業利益（日本）

単位：百万円	2020年9月期 実績		2021年9月期 実績		
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比	営業利益 構成比
農林業用機械	969	52.6%	1,893	95.4%	67.9%
工業用機械	461	25.0%	588	27.5%	21.1%
その他の機械	131	7.1%	69	△47.0%	2.5%
不動産賃貸他	282	15.3%	239	△15.1%	8.6%

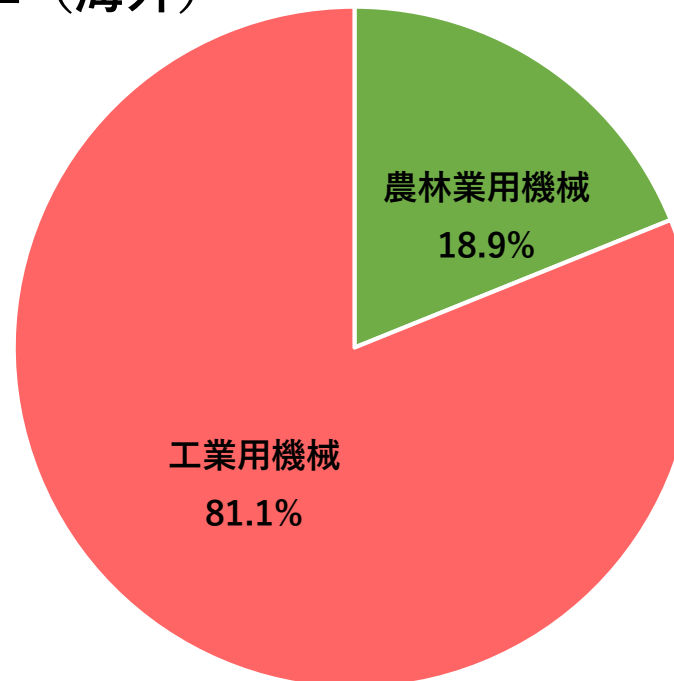
営業利益比率（日本）



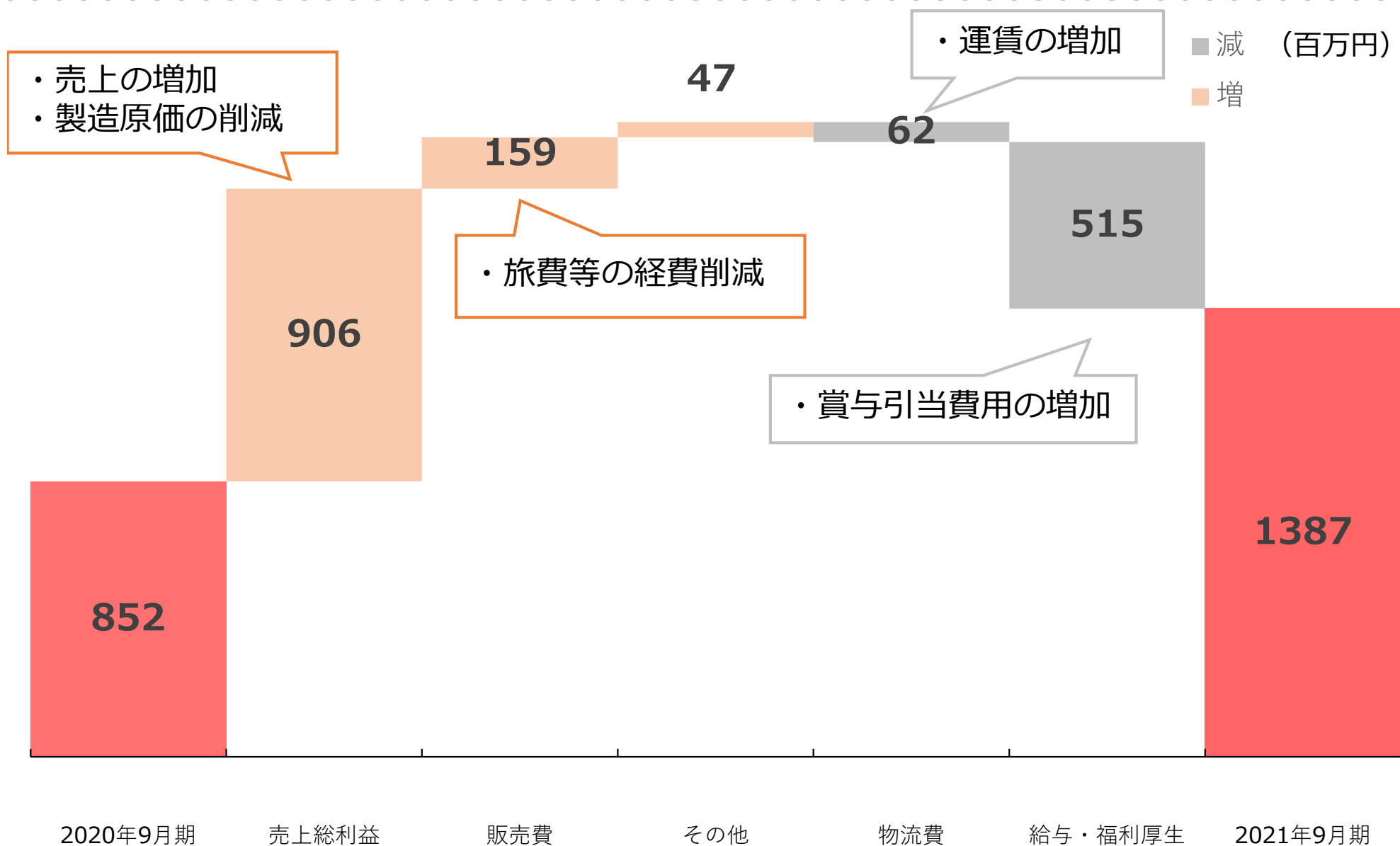
セグメント別 営業利益（海外）

単位：百万円	2020年9月期 実績		2021年9月期 実績		
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比	営業利益 構成比
農林業用機械	66	10.6%	134	103.0%	18.9%
工業用機械	559	89.4%	575	2.8%	81.1%

営業利益比率（海外）



2021年9月期 増益分析(営業利益)

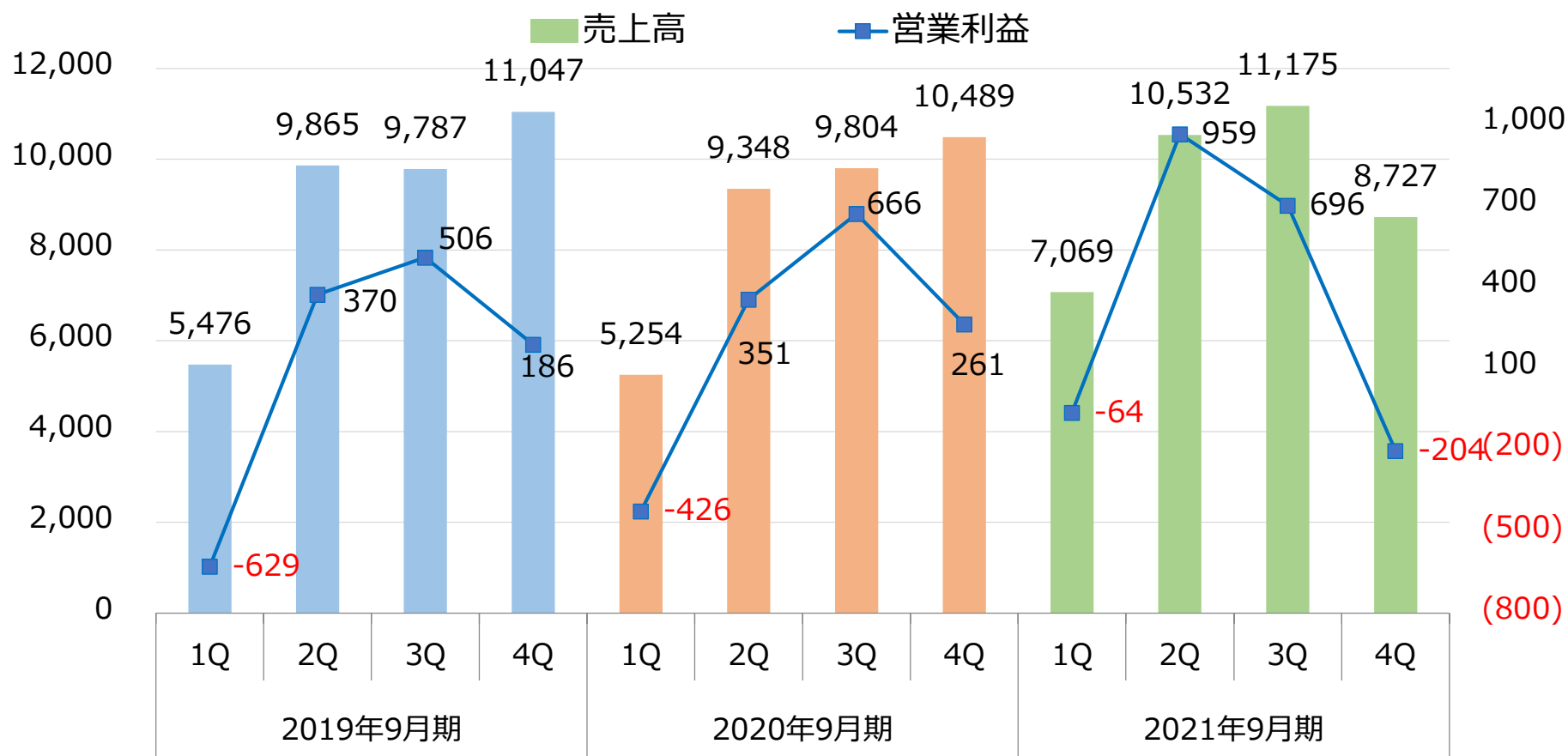


売上高・営業利益の推移(四半期ベース)

売上高は 37,503百万円（前年同期比7.5増%）

営業利益は 1,387百万円（前年同期比62.7%増）

※国内の農業用機械の需要期が3月から7月であるため、売上・利益ともに第1四半期は他の期に比べ少ない傾向にあります。



2. 2022年9月期 業績予想

.....

【2021年10月1日～2022年9月30日】

2022年9月期 業績予想

単位：百万円	2021年9月期 実績		2022年9月期 通期予想		
	金額	売上高 構成比	金額	前年同期比	売上高 構成比
売上高	37,503	100%	37,700	0.5%	100%
営業利益	1,387	3.7%	1,500	8.1%	4.0%
経常利益	1,302	3.5%	1,450	11.4%	3.8%
当期純利益	855	2.3%	1,000	17.0%	2.7%
為替レート 米ドル	108円		110円		
為替レート ユーロ	129円		132円		

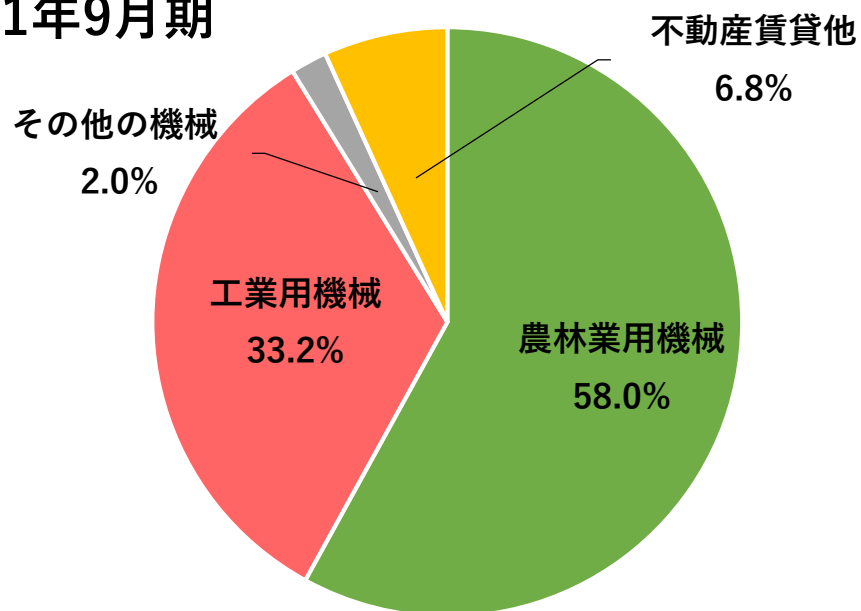
2022年9月期 セグメント別業績予想

単位： 百万円	2021年9月期 実 績			2022年9月期 予 想		
	売上高	売上高 構成比	営業利益	売上高	売上高 構成比	営業利益
農林業用機械	29,288	78.1%	2,027	29,400	78.0%	2,150
工業用機械	5,693	15.2%	1,162	5,750	15.3%	1,240
その他の機械	2,328	6.2%	69	2,350	6.2%	70
不動産賃貸他	485	1.3%	239	480	1.3%	240
調整額 (セグメント 間取引)	△291	△0.8%	△2,111	△280	△0.7%	△2,200
合計	37,503	100.0%	1,387	37,700	100.0%	1,500

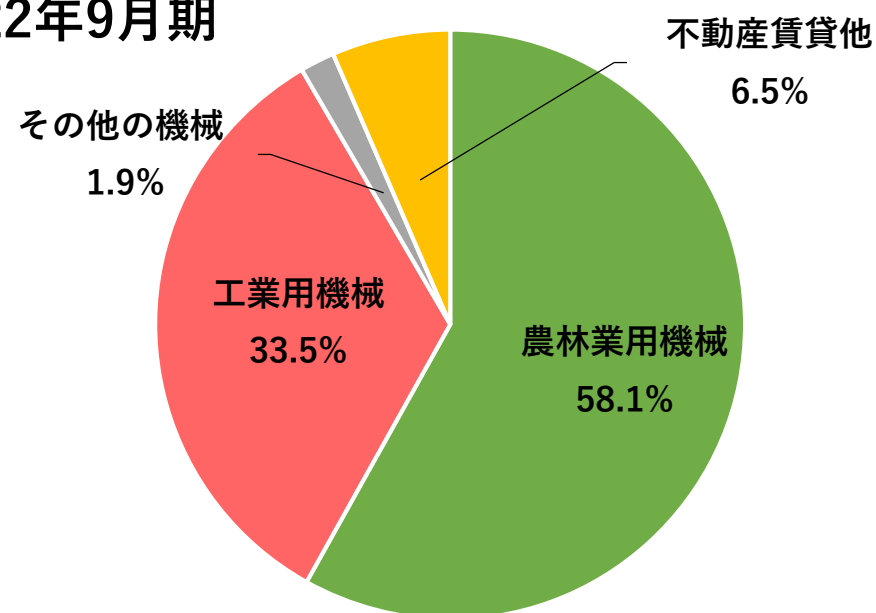
セグメント別 営業利益

単位：百万円	2021年9月期		2022年9月期		
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比	営業利益 構成比
農林業用機械	2,027	58.0%	2,150	6.1%	58.1%
工業用機械	1,162	33.2%	1,240	6.7%	33.5%
その他の機械	69	2.0%	70	1.4%	1.9%
不動産賃貸他	239	6.8%	240	0.4%	6.5%

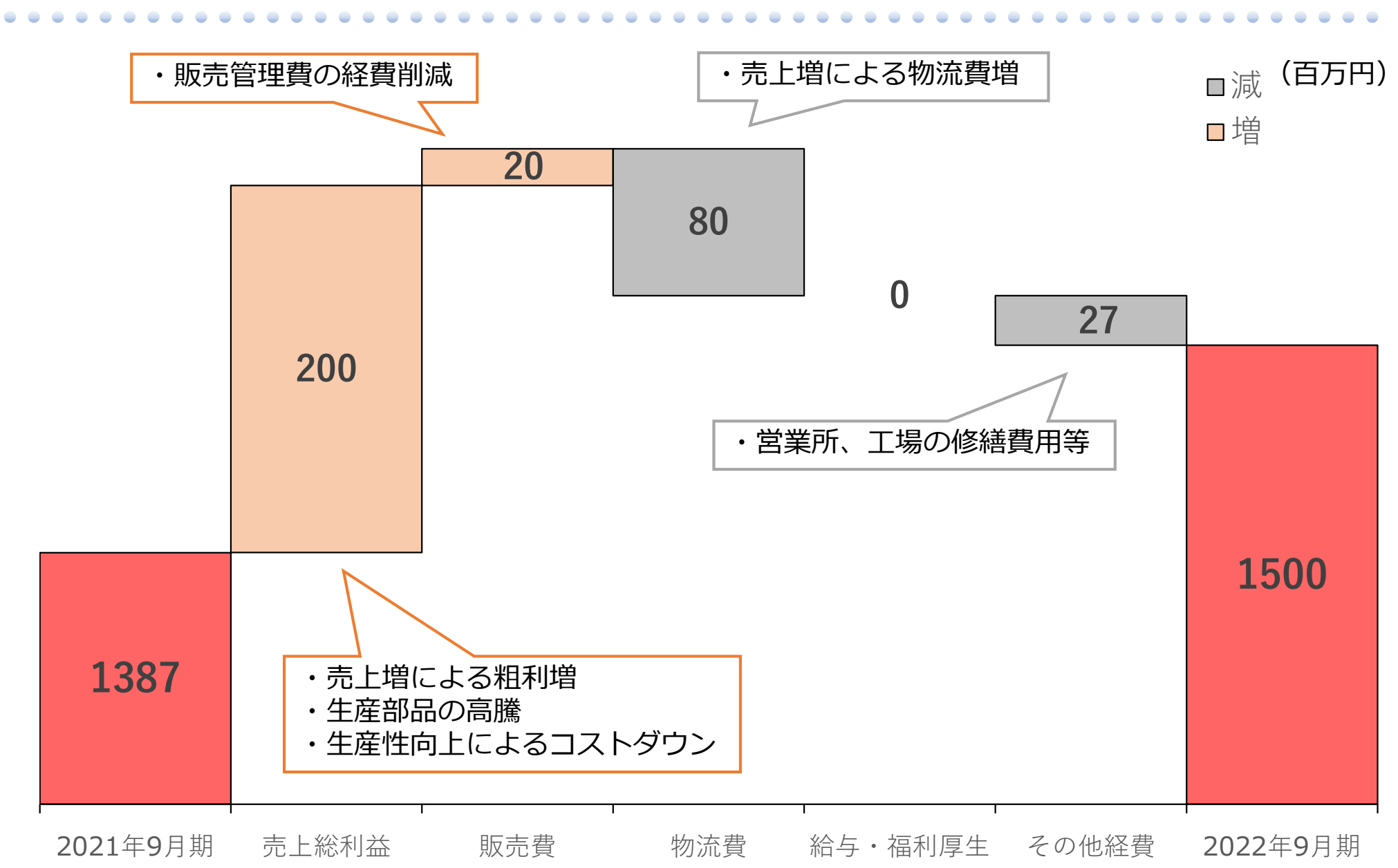
2021年9月期



2022年9月期



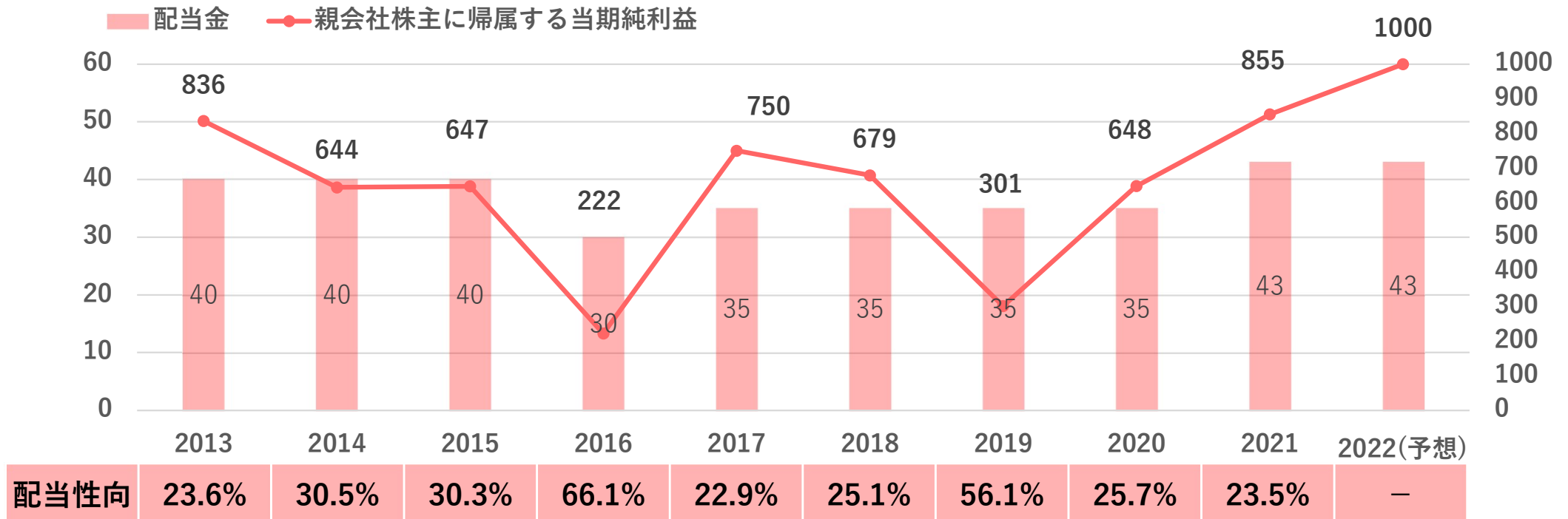
2022年9月期 増減分析予想(営業利益)



株主還元

- ・ 安定的な配当を継続することを基本として、将来の事業展開に必要な内部留保ならびに業績見込みなどを勘案することを方針としております。
- ・ 来期の配当予想額は当期と同じ1株につき43円
- ・ 自社株式取得：178,700株（取得価格の総額 305,635,500円）

期間は2020年11月～2021年8月



※2017年4月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、
1株あたりの配当金については2010年に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

第7次中期経営計画

.....

【2020年9月期～2022年9月期】

事業を取り巻く環境

事業へ影響を与える主な環境変化

マクロ 環境

- ・ 国内：少子高齢化
- ・ 海外：水不足・食料問題
- ・ 国内外：自然災害多発

ビジネス 環境

- ・ 国内：農家人口の減少
- ・ 海外：新興国の発展

市場 環境

- ・ 国内：スマート農業の登場
- ・ 海外：大型防除機の需要高
- ・ 国内外：感染症対策需要高

機会

【国内】

- ・ 担い手集約・大規模化による大型機械事業の促進
- ・ スマート農業製品の開発・販売
- ・ ウルトラファインバブルの販売拡大

【海外】

- ・ 大型防除機を中心にアジア各国への販売強化
- ・ 工業用機械部門で新製品の投入

【国内外】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として除菌用機械の投入

中期経営計画の修正（2022年9月期）

単位：百万円	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 目標値 (修正後)	中計20-22 2022年度 (当初目標)
売上高	34,895	37,503	37,700	38,000
営業利益	852	1,387	1,500	1,200
経常利益	763	1,302	1,450	1,100
当期純利益	648	855	1,000	750
ROE	4.0%	5.2%	6.0%以上	4.5%以上

- ・ ワクチン接種率の向上に伴う経済活動の正常化や積極的な財政政策による景気回復の期待もありますが、経済活動の正常化に伴う新型コロナウイルス感染症の再拡大も懸念され、国内外にて先行きの不透明感も増しております。
- ・ 当社グループは、**売上高37,700百万円、営業利益1,500百万円、経常利益1,450百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,000百万円**を見込んでおります。
- ・ **自己資本利益率（ROE）は6.0%以上**を見込んでおります。

最終年度業績予想（2022年9月期）

単位：百万円	2021年9月期 実 績		2022年9月期 予 想		
	金額	売上高 構成比	金額	前年 同期比	売上高 構成比
売上高	37,503	100.0%	37,700	0.5%	100%
営業利益	1,387	3.7%	1,500	8.1%	4.0%
経常利益	1,302	3.5%	1,450	11.4%	3.8%
当期純利益	855	2.3%	1,000	17.0%	2.7%

基本コンセプト

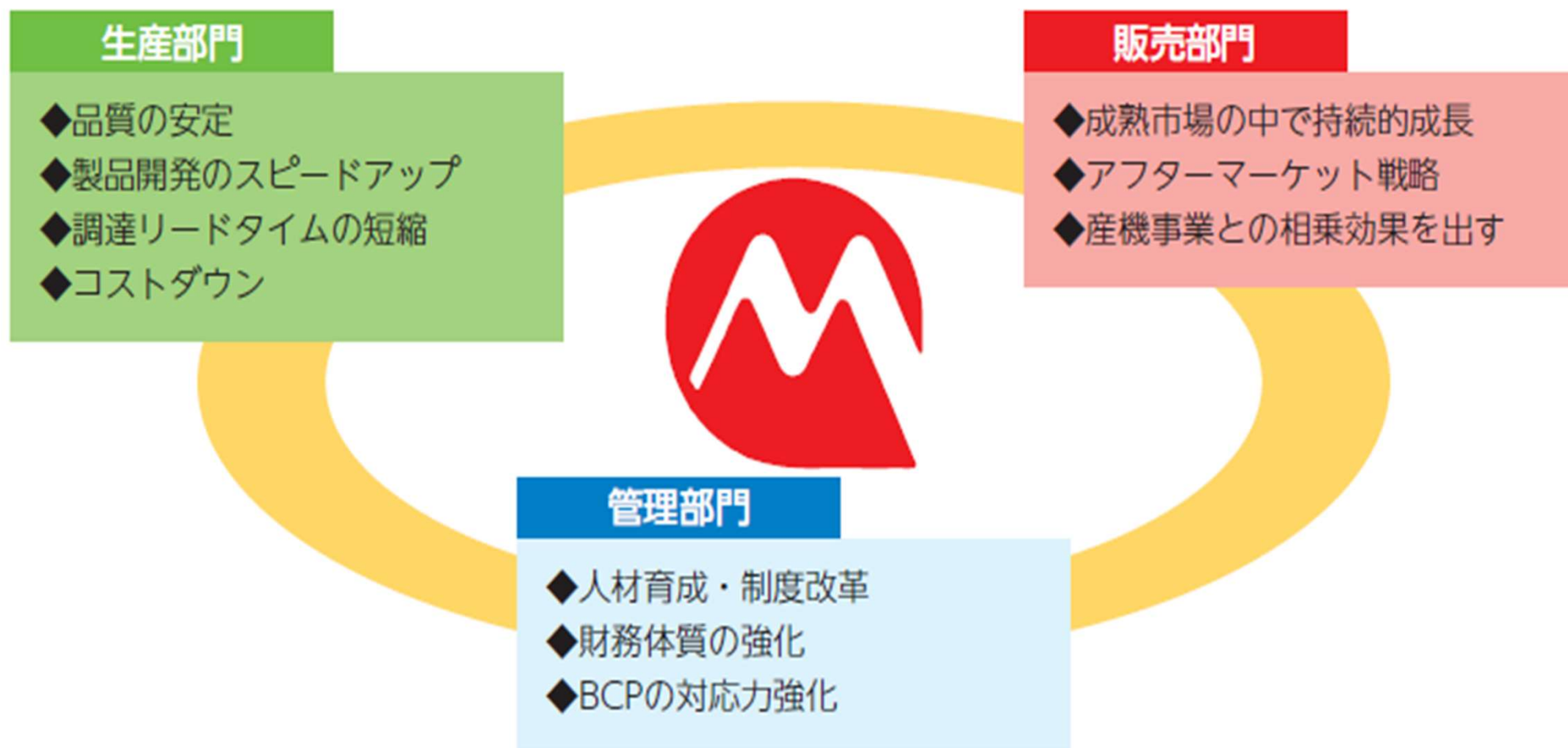
持続的成長を成し遂げる

基本戦略	方針
収益の改善	◆品質対策 ◆財務体質の強化
イノベーションを巻き起こす	◆産機・海外事業の成長 ◆スマート農業進出

社会貢献するとともに事業を進化させるべく
「次の100年を創る-All for the Future-」と
ブランドステートメントを定めました

コア技術であるポンプとエンジンをさらに進化させ、SDGsにつながる事業領域を将来に亘って継続的に拡大すべく、全社員で取り組み、収益力の向上並びに経営体質の強化に努め、単年度計画、中期経営計画の達成を目指してまいります

収益の改善



イノベーションを巻き起こす



産機事業を伸ばす

- ◆MUFB製品をはじめとした製品戦略強化
- ◆付加価値の高い完成品を販売



海外事業を伸ばす

- ◆現地のニーズに適した製品を開発
- ◆販売チャネルの構築



スマート農業への進出

- ◆大型機械、ドローン、バッテリー製品の研究開発、品揃え強化
- ◆ソフト、システム、サービス技能の習得
- ◆異業種企業との提携・連携



サービス事業を伸ばす

- ◆アフターマーケットの拡大
- ◆市場、需要の変化に敏感に対応
- ◆サービス組織の充実
- ◆エンドユーザー情報の把握

産機事業を伸ばす

ミスト冷房



健康・環境配慮
丸山ポンプテクノロジー



カーウォッシャー



テーマパーク



ハウス内加湿



災害時緊急給水RO



M U F B (ウルトラファインバブル) の活用

ウルトラファインバブルとは・・・

1 μ m以下の微小な泡

■ 抜群の洗浄能力

- ① 洗剤なしでも洗濯ができる
- ② 細菌・ウイルス・悪臭を破壊

■ 生理活性効果

- ① 植物や養殖魚の生育を促進

洗 浄

- ・トイレの尿石が取れた
- ・臭いが減った
- ・除塩作業の効率が良くなった



水 産 業

- ・養殖魚が短期間で大きくなった
- ・鮮度が長く保たれるようになった



農 業

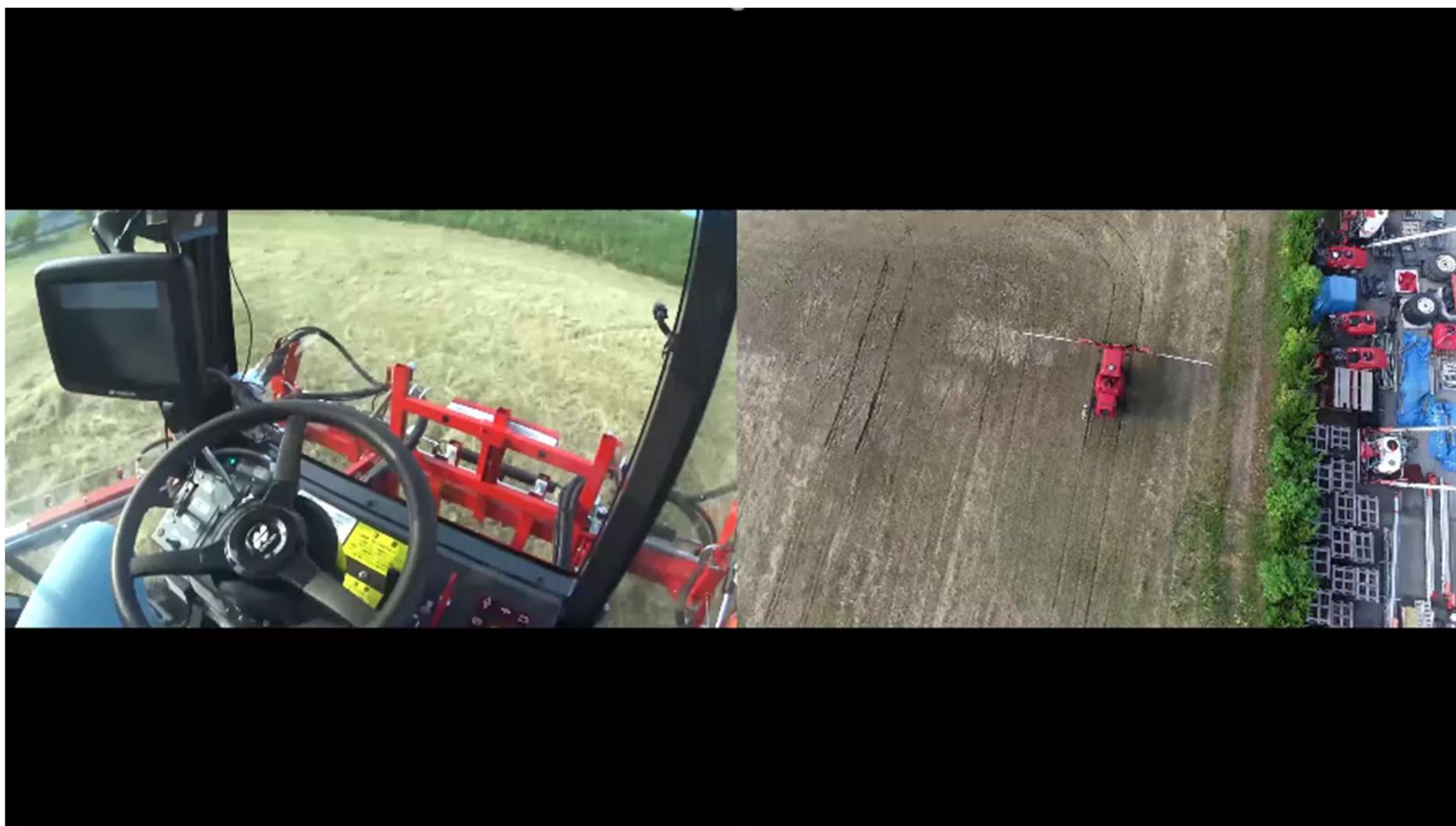
- ・野菜のハリ、ツヤが良くなった
- ・果物の収穫量が増え甘さも増した



ファインバブル活用事例集を基に当社作成 : https://k-rip.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/finebubble_ver4.pdf

スマート農業への進出

車両情報を衛星により把握し、圃場内において高精度な自動操舵を実現



参考資料



貸借対照表

単位： 百万円	2020年9月期		2021年9月期		増減額	主要因
	金額	構成比	金額	構成比		
総資産	32,733	100.0%	34,154	100.0%	1,420	
流動資産	20,906	63.9%	21,863	64.5%	956	受取手形、売掛金の減少 原材料・貯蔵品、その他未収入金の増加
固定資産	11,827	36.1%	12,291	35.5%	464	営業所移転に伴う建物・構築物の増加 投資有価証券の増加
流動負債	10,910	33.3%	14,757	34.9%	3,847	電子記録債務の増加 1年内返済予定の長期借入金の増加
固定負債	5,781	17.7%	2,407	16.3%	△3,373	長期借入金の減少
純資産	16,042	49.0%	16,989	48.8%	947	自己株式、利益剰余金の増加 その他有価証券評価差額金の増加

	2020年9月期末	2021年9月期
自己資本比率	49.0%	49.7%
流動比率	191.6%	148.2%

(注) 1. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度の総資産の金額については、当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。

キャッシュフロー計算書

単位：百万円	2020年 9月期	2021年 9月期	前 期 同期比	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	4,602	1,927	△2,674	その他に含まれる未収入金の増加
投資活動によるキャッシュフロー	△829	△1,061	△232	有形固定資産の取得による支出増加
フリーキャッシュフロー	3,773	866	△2,907	
財務活動によるキャッシュフロー	△1,786	△998	787	短期借入金の減少
現金及び現金同等物期末残高	4,124	4,012	△112	

単位：百万円	2021年9月期	内 容
設備投資	1,042	営業所の移転に係る建築費用 千葉工場、製造子会社の生産設備の更新
研究開発費	1,067	労務費及び試作研究費
減価償却費	1,033	

会社概要（2021年09月30日現在）

社 名	株式会社丸山製作所
代表者	代表取締役社長 内山 剛治
本 社	〒101-0047 東京都千代田区内神田 3 丁目 4 番 1 5 号
創業・設立	【創業】 1895年 【設立】 1937年11月
資本金	46億51百万円
売上高	375億3百万円（2021年9月期）
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
上 場	東京証券取引所 市場第一部
従業員数	【単体】 602名 【連結】 917名
証券コード	6316
事業内容	農林業用機械、工業用機械、消防機械の製造・販売
URL	http://www.maruyama.co.jp/

沿革

1895年

新潟県高田町にて丸山商会を創業
(日本で初めて消火器を製造)

1918年

人力噴霧器の製造・販売

1935年

動力噴霧機の製造・販売

1937年

株式会社丸山製作所を設立

1961年

東京証券取引所市場第二部に上場

1967年

工業用ポンプを開発

1977年

東京証券取引所市場第一部に指定

1990年

オリジナル2サイクルエンジン開発

2000年

新環境型2サイクルエンジンを開発
カリフォルニア州排ガス規制クリア

2004年

消火剤リサイクル・・・eco消火器を販売

2012年

キャビン付ハイクリブームの開発

2016年

マルチローター（ドローン）の開発

2018年

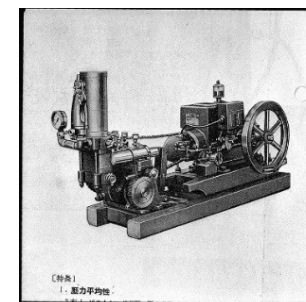
ハイクリブーム発売30周年を迎える

2020年

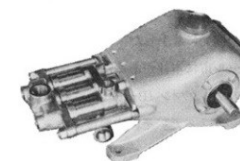
創業125周年



丸山式消火器



横型三連式動力噴霧機



工業用ポンプ



2サイクルエンジン



キャビン付ハイクリブーム

当社の事業内容



農林業用機械分野

現在、丸山グループの基幹となっている事業です。丸山独自のポンプを使用した防除機は、変化し続ける農家の皆様のニーズに対応すべく、多種多様な製品を製造・販売しております。また、自社製の2サイクルエンジンを使用した刈払機、チェーンソーなども扱っています。

産業機械分野

現在、丸山製作所が力を入れている事業です。高圧洗浄機や洗車機、ミスト装置などに使われる産業用の高圧ポンプの開発・製造を行っております。また、畜舎内での病原菌の感染を防ぐ車両消毒装置など、環境衛生機器分野にも丸山製作所のポンプは活用されております。

防災関連分野

丸山製作所は日本で最初に消火器の製造・販売をした企業です。多様化する社会の中で「環境とより安全な消火器で社会に貢献する」という理念のもと、消火薬剤のリサイクル化を進め、技術改良と製品開発により、さまざまなニーズに対応しております。

当社製品



当社の主力

消火器の製造から始まり、現在ではポンプ・エンジンが当社のコアテクノロジーです。

ポンプとエンジンは製品の動力源であり、製品の心臓部となるものです。様々な分野の製品で活用されています。

ポンプ & エンジン



当社の強み（製品）

当社の製品は様々な分野でトップシェアを獲得しています



ポンプ製品の農業用防除機で
国内トップシェア



海外（北米）でのカー
ウォッシュ用ポンプで
トップシェア



エンジン製品の刈払機
でホームセンター流通
において
国内トップシェア

国内の販売・生産・サービス拠点



千葉工場 (東京ドーム 3 個分の敷地)



西部丸山 (岡山)



- 本社 Headquarters
- 千葉工場 Chiba Plant
- 事業所 Business offices
- 営業所 Sales offices
- 関連会社 Affiliated companies

本 社

東京都千代田区

生産拠点

3ヶ所
千葉県東金市 (2ヶ所)
岡山県苫田郡

営業拠点

全国25ヶ所
北海道(江別・帯広) / 青森 / 岩手 / 秋田 / 山形 / 宮城 / 福島 / 茨城 / 栃木 / 千葉 / 新潟 / 長野 / 山梨 / 石川 / 愛知 / 静岡 / 大阪 / 広島 / 岡山 / 香川 / 福岡 / 熊本 / 鹿児島 / 宮崎



物流拠点 (福島)

物流拠点

3ヶ所
福島県・千葉県・岡山県

関係会社

日本クライス株式会社
マルヤマエクセル株式会社
西部丸山株式会社
丸山物流株式会社

海外の販売・生産拠点



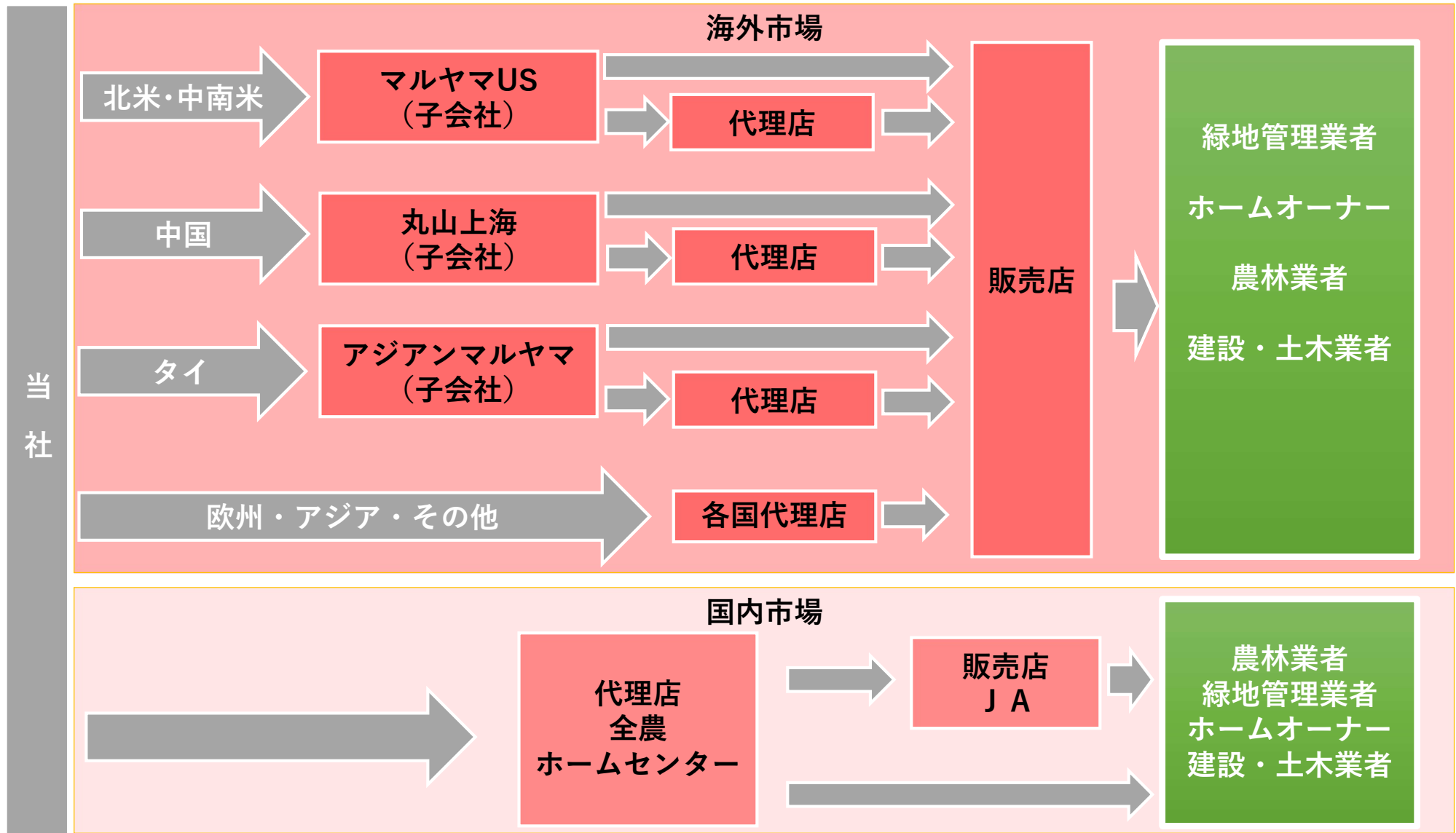
● 丸山（上海）貿易有限公司
中国市場向けに農林業用機械の販売

● MARUYAMA U.S.,INC.
北米を中心に農林業用
機械を販売

MARUYAMA MFG (THAILAND) CO.,LTD.
ASIAN MARUYAMA(THAILAND)CO.,LTD.

農林業用機械の製造・販売
東南アジア市場向けを中心に販売

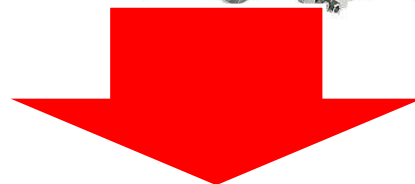
主な販売経路



ポンプを使用した工業用製品



スパウターによる
消臭作業



テーマパークで
使用されるミスト



高圧洗浄機



温度管理ミスト

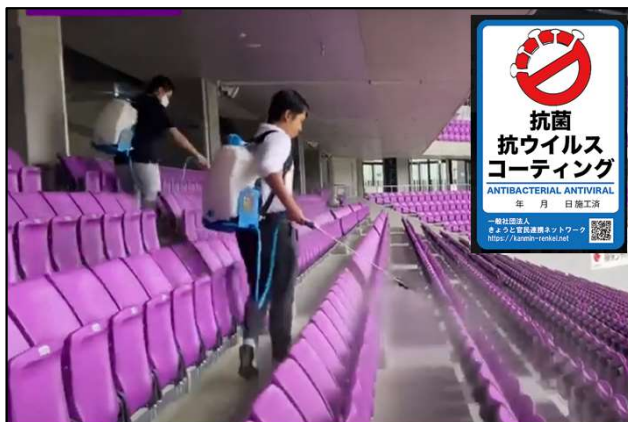


カーウォッシャー



災害時緊急給水RO

ポンプを使用した農業用製品



スタジアムの抗菌
抗ウイルスコーティング



牛舎での除菌作業



背負動力噴霧機

【畑・ビニールハウス】



ステレオスプレーヤ

【果樹園】



ハイクリブーム

【田・畑】



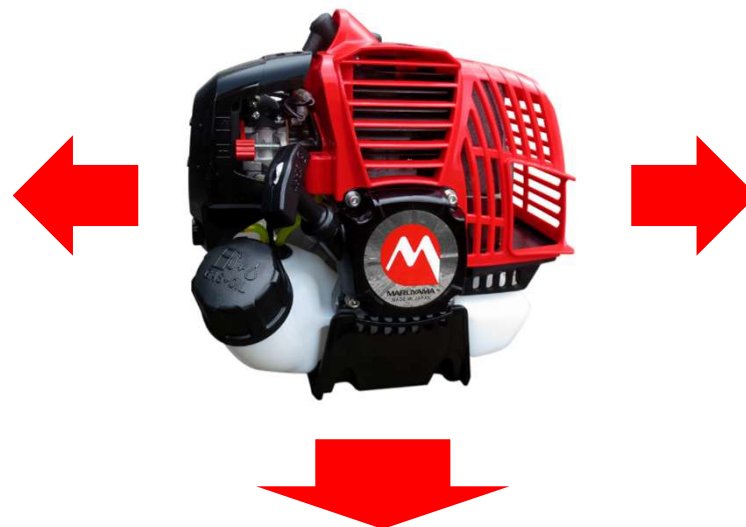
マルチローター

【中山間地】

エンジンを使用した製品



刈払機



ブロワー



ヘッジトリマー



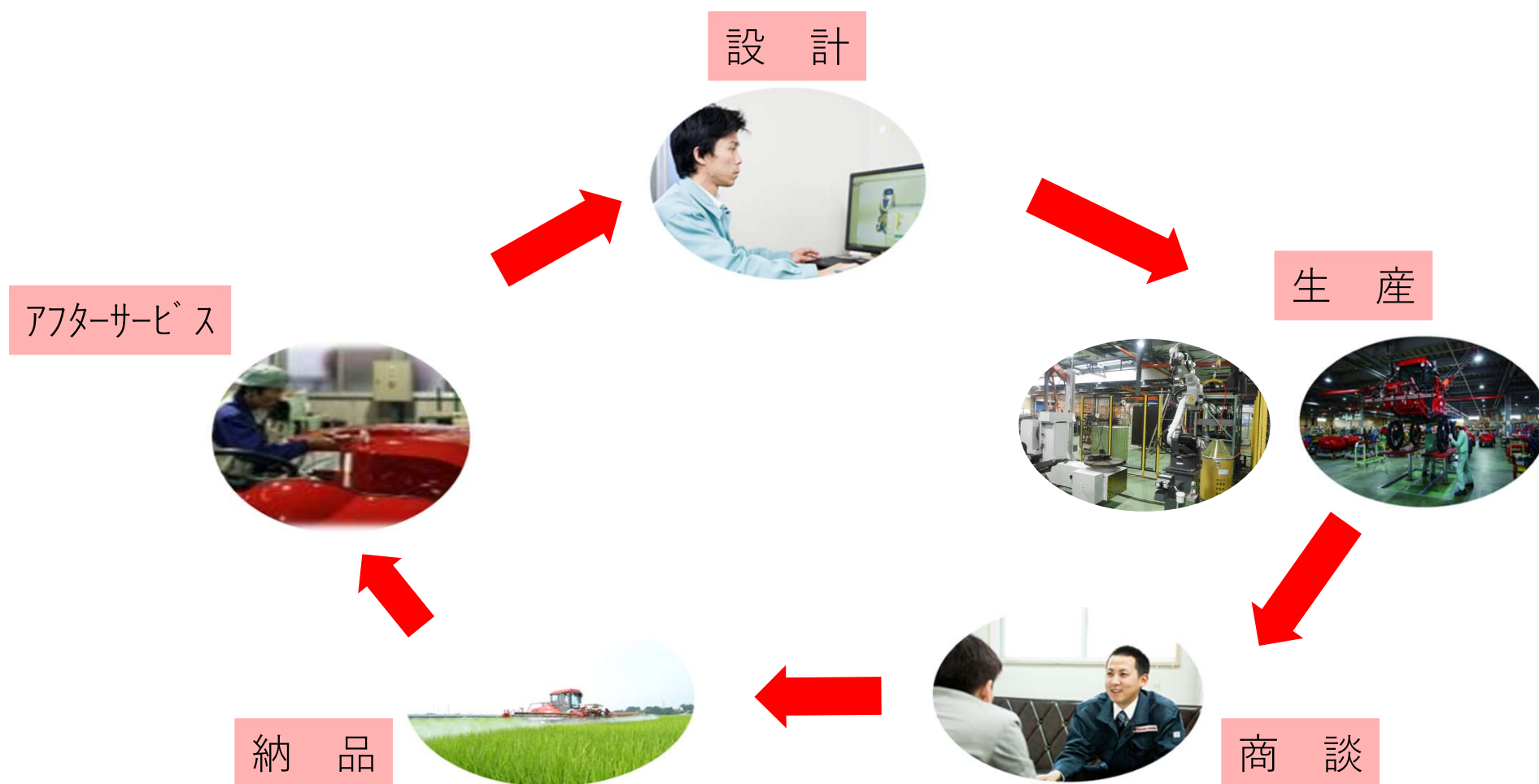
チェンソー



背負動力噴霧機

当社の強み（生産体制）

丸山グループは設計・製造からお客様のお手元に製品が届くまで、グループ内で一貫して行なっております



新型コロナウイルスに対する取り組み

当社千葉工場において、新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施いたしました。

9月に1回目、10月に2回目の接種を行いましたが、当社グループの従業員のみならず、近隣にお住まいの方や協力会社様にもお声がけし参加いただくことによって、1,000人規模の職域接種を実現することができました。

新型コロナウイルスの一日も早い終息をお祈り申し上げます。



受付の様子



接種ブース

MUFB ウルトラポンプの活躍

HITOWAライフパートナー株式会社様（本社：東京都港区、代表取締役社長：見澤直人）が展開するハウスクリーニングチェーン「おそうじ本舗」に、当社が開発製造・販売する「MUFBウルトラポンプ」が採用されました。

様々な分野へ「MUFBウルトラポンプ」を展開すべく開発を進めており、今後さらに持続可能な社会の実現を目指すべく、環境負荷の低減に努めてまいります。

おそうじ本舗のエアコンクリーニングサービスにおいて、当社最先端技術である「ウルトラファインバブル」による洗浄効果が認められ、2021年6月よりサービスが提供されることとなりました。



C S R 活動報告

千葉県知事より感謝状を贈呈いただきました。

当社はこの度、2020年度に発生した、『高病原性鳥インフルエンザに係る千葉県の防疫活動に協力した団体』として、千葉県知事から感謝状を贈呈いただきました。

当社は今後も、地域貢献に繋がる活動を継続してまいります。

感染拡大を受け当社は家畜保健衛生所に協力を持ち掛け、自走セット動噴「MLSL3304」及びフレッシュハウサー「LVM31」を受注いただく運びとなり、この活動が今回千葉県より感謝状を贈呈いただくきっかけとなりました。



感謝状



MLSL3304

東京証券取引所による市場区分再編への対応

当社は、「スタンダード市場」を選択することを決定いたしました。

今後も、ブランドステートメントである

「次の100年を創る -All for the Future-」に取り組み、
次の100年を見据え、新しいことへのチャレンジを絶えず行ってまいります。

また、今後策定する中長期経営計画では、コーポレート・ガバナンス体制を一層強化するとともに、投資家との積極的な対話を推進し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のための施策を検討・実行し、社会的価値と経済的価値の両立を図るべくESG経営を重視してまいります。

株主優待制度の導入

株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式に対する中長期的な投資魅力を高めることを目的として、本年より株主優待制度の実施を開始いたします。

【贈呈対象】 本年9月30日現在の当社株主名簿に記載されており、
100株以上の当社株式を1年以上継続保有されている株主様

(継続保有期間) <u>1年以上3年未満</u>	QUOカード1,000円分
(継続保有期間) <u>3年以上5年未満</u>	QUOカード2,000円分
(継続保有期間) <u>5年以上7年未満</u>	QUOカード3,000円分
(継続保有期間) <u>7年以上</u>	QUOカード5,000円分

- (注) 1. 2017年4月1日を効力発生日とする、普通株式10株を1株とする株式併合後を行っております。
2. 継続保有期間の確認にあたっては、3月31日及び9月30日の株主名簿に連続して記載される同一の株主番号の回数並びに各回において100株以上の確認を基準といたします。
1年以上3年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続3～6回記載
3年以上5年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続7～10回記載
5年以上7年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続11～14回記載
7年以上：株主名簿に100株以上の保有を、連続15回以上記載

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【I Rに関するお問い合わせ先】

株式会社丸山製作所
人事総務部

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-15

TEL : 03-3252-2271

E-mail : ir-contact@maruyama.co.jp



次の100年を創る
-All for the future-